

情報公開文書

研究課題名	微生物検査部門ネットワークによる関東地方の病原微生物サーベイランス
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 感染症科 氏名 関川 喜之
研究期間	審査承認日 ～ 2028年 12月
研究の意義・目的	薬剤耐性菌や急性呼吸器ウイルス感染症の流行を期に、感染症を起こす病原体の変異や耐性化状況を把握することが重要です。感染症法等に基づく届出による病原体収集が可能である一方で、臨床情報の収集を行うことは難しく、特に届出対象外の感染症の病原体の把握は困難であり、また変異や耐性化などの病原性に関わる因子とその臨床像との関わりを明らかにすることは困難です。医療機関では病原体の検出検査が実施されていますが、検出された病原体情報を活用し、また複数の医療機関の微生物検査部門で検出された病原体と臨床情報を集積して、病原因子や病原体の遺伝子、薬剤感受性などの詳細な微生物学的評価を実施することによって、地域の実態に即した病原体の疫学やその病原因子による臨床像の変化に関する知見が集積されることが期待されます。そこで本研究では、関東地方の複数の医療機関由来の病原体の病原因子、耐性因子の解析を実施し保因率を調査するとともに、その傾向の経時的な変化を探ることを目的とします。そして関東地方における病原体の病原因子、耐性因子の保因率を明らかにすることにより、地域特性（ローカルファクター）を踏まえた抗微生物薬の選択など、より質の高い感染症診療が可能となることが期待されます。
研究の方法 (対象期間含む)	多施設での前向きコホート研究となります。2025年から2028年の間に 武蔵野赤十字病院を受診し、微生物検査を実施され、病原体を分離された患者さんです。該当患者さんのカルテから以下の情報を調査させていただきます。 (対象期間：2025年1月～2028年12月)
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用するものの範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称	①臨床情報は匿名化された情報を管理・解析します。 ②患者背景に関する情報は、年齢、性別、既往歴、合併症、治療経過、臨床検査結果、画像検査結果に関する結果です。また、診療の目的で提出された微生物検査検体より分離された病原体(単離が難しいものについては、病原体を含む残余 検体) の病原因子および薬剤耐性因子を対象とします。 ③慶應義塾大学医学部・病院、亀田総合病院、国立病院機構埼玉病院、日野市立病院、東京薬科大学、東京大学医科学研究所、地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター、武蔵野赤十字病院の多施設共同研究の研究責任者 ④武蔵野赤十字病院 研究責任者 関川喜之、および 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎雅之
問合せ先	当研究に自身の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 感染症科 氏名 関川 喜之 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線）FAX：0422-32-3525